

学ぼう！今更聞けない水稻の基本

～令和3年度「粒すけ」栽培展示ほ現地検討会を開催～

安房農業事務所改良普及課 令和3年7月12日発

農業事務所では、管内の「粒すけ」栽培農家を対象に、水稻栽培全体に関する研修会を含めた「粒すけ」現地検討会を6月30日に開催しました。当日は水稻農家、JA等関係機関含め、55名の参加がありました。近年は気候が不安定であり、安定した収量・品質の確保が難しくなっていることから、水稻の基礎的な栽培ポイントについて講習を行うとともに、乗用溝切機の実演を行い、気候変動に強い健全な稲体を作るために必要な作業である中干しの重要性を説明しました。

参加者から「これから安房地域を担う若手の農業者は、非農家出身者や、世代を隔てて就農した人も多く、水稻の栽培経験が少ない人が多いので、このような水稻の基礎を学ぶ場はとても重要だと思う」等の感想がありました。当事務所では、今後も水稻農家の経営向上に向けた支援を継続して行っていきます。



乗用溝切機の実演



屋内研修会の様子